



中国労組生産性会議

議長 久光 博智

中国労組生産性会議

は、1959年（昭和34年）「労組生産性企

画実践委員会中国委員

会」が設立され、1971年（昭和46年）に

「中国地方労組生産性

会議」へと組織の再編

成を行い、現在に至っ

ています。これまで諸
先輩・関係者の皆様の
ご尽力により、長きに
わたる中国地方の産業
・企業の発展と健全な

労使関係の維持・向上
に向け、中国生産性本
部と連携して諸活動を
推進して参りました。

わが国は超少子高齢
化と労働力人口の減
少、就業・雇用形態の
急速な多様化、グロー
バル競争の一層の激
化、IoTやAIとい
った技術革新など、労
使を取り巻く経済社会

中国労組生産性会議の活動について

環境が大きな変化を続
けており、個別企業労
使での構造改革に留ま
らず、バリエーション
全体を包摂する新た
な挑戦が求められてい
ます。また、不安定雇
用の増大と労働条件の
格差拡大、ワークルー
ルや社会的セーフティ
ーネットの整備など、

安心して働くための課
題は山積しています。

こうした経済・社会
環境にあって当会議で
は、すべての働く者が
活躍できる場と公正な
労働条件のもと、将来
を見通せる安心感を併
せ持った企業社会の実
現、すなわち「働く者
の尊厳の維持」こそが
「企業の存続・発展」

活動に

に寄与できるものと確
信しております。

そのためには、労働
組合の立場から社会的
責任を自覚し、働く現
場を踏まえた生産性運
動を推し進めるとも
に、ネットワークを広
げていくことが肝要だ
と認識しています。

とりわけ「生産性運
動三原則」、すなわち
「雇用の維持・拡大」、
「労使の協力と協議」、
「成果の公正配分」は、
昭和30年に掲げられて
以降、今なおその輝き
・意義を失っておら
ず、変化が激しい時だ
からこそ、その重要性
を労使で再認識し、よ
り強化していくことが
不可欠だと考えます。

活動に

は、中国地方における
生産性運動の推進役と
して、「昨日よりも今
日、今日よりも明日」
という活動理念に基づ
き、経営者・学識者、労
働組合の方々と力を合
わせ、生産性運動の発
展と地域社会の活性化
に貢献して参る所存で
す。

と認識しています。

す。